

天皇陛下御在位 30 年を、心からお祝い申し上げます。

天皇皇后両陛下におかれましては、長い年月、日本と国民のためにご公務にお取り組みになり、国民の心に寄り添って下さいました。篤く御礼を申し上げます。

両陛下は、外国との親善も大切なこととしてお力を尽くしてこられました。私は平成 18 年、両陛下の東南アジアご訪問に随行させていただき光栄に浴しましたが、旅の間中いつも、両陛下は、歓迎する大勢の市民、子供たち、邦人に取り囲まれていらっしゃいました。両陛下は、ある時は暑い中をお車の窓をお開けになって手を振り続けられ、ある時は晚餐会後のお疲れの中、御宿舎の玄関で待ち受ける人々と、触れ合うひと時を持たれました。また、出発前の早朝に、御宿舎のスタッフをねぎらう時間もおとりになったのです。両陛下は、外国においても無私を貫かれ、お心をこめて人々と接していらっしゃいました。このようなお姿を拝見した時ほど、日本国民であることを誇らしく、また幸せに感じたことはございません。

両陛下の外国ご訪問は、国際親善という言葉をはるかに超えた、日本と訪問先国との間に深い感動を創られる旅であると存じます。

平成の 30 年間に、日本は一層成熟し、国際社会において存在感のある国となりました。社会が安定し求心力のある国として評価されています。この事も、天皇陛下のご存在ゆえと感謝申し上げます。

天皇皇后両陛下におかれましては、この平成のあゆみを見守ってくださり、常に範を垂れていただきました。

私たち国民は、平成の時代を、天皇皇后両陛下の数々の深いお言葉とともに、心にとどめてまいります。

天皇皇后両陛下のご健康を心より祈念申し上げます。
誠にありがとうございました。

平成 31 年 2 月 24 日

川口 順子